

「こおりやまの米」通信



郡山市
イメージキャラクター
「かくとくん」

Vol.8 平成23年9月8日

編集：郡山市
JA 郡山市 (TEL. 921-0724)
NOSAI 郡山田村 (TEL. 933-3307)
県中農林事務所農業振興普及部 (TEL. 935-1310)

発行：郡山市農作物生産対策協議会 (郡山市営農推進課 TEL924-3761)

がんばろう ふくしま！

1. 生育概況 「刈取適期は平坦ひとめぼれが9月中旬頃から、コシヒカリは彼岸明けから、湖南地区まいひめは9月中旬頃からです。」

平年に比べ稈長は長く、穂数はやや少ないです。

出穂は平坦部のコシヒカリ、ひとめぼれ、湖南地区のあきたこまちとも平年に比べ遅れました。ただし、同じ品種でも地域や田植の早晚によって多少異なります。

刈取適期は、それぞれのほ場の出穂時期をもとに判断してください。

地域	品種	出穂期		
		本年	前年(22年)	平年
平坦地	ひとめぼれ	8月10日	7月31日	8月5日
	コシヒカリ	8月14日	8月8日	8月12日
湖南	まいひめ	8月4日	7月30日	8月4日
	あきたこまち	8月10日	8月3日	8月8日

※出穂期の平年値は、過去5年間の平均

2. 天気予報

東北地方 1か月予報

(9月3日から10月2日までの天候見通し 仙台管区气象台 9月2日発表)

<特に注意を要する事項>

2週目を中心に、気温が平年に比べかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、多い確率50%です。

3. 水管理 「乳白米防止」

(1) 早期落水の防止

落水時期は、出穂後30日以降を目安とします。落水後も田面が白く乾燥した場合は灌水しましょう

早期落水は乳白米を多発させるのでやめましょう。ほ場が軟らかい場合は、排水溝を切ったり、間断かん水の水を入れない期間を長くとるなど、工夫しましょう。

4. 適期刈り取り 「刈り遅れ注意」

刈り遅れは胴割米の原因となるほか、玄米の光沢が落ちたり、着色粒が増えるなど、品質が低下します。

こまめにほ場を観察して穂の黄化状況や積算気温を参考に刈り取り時期を判断してください。

出穂後、高温で経過した場合、水稻の成熟期は積算気温による予想より早まる傾向がありますので、最終的には籾の黄化状況をみて刈取適期を決定しましょう。

(1) 積算気温から

①刈り取り適期は、

平坦地の「ひとめぼれ」は950℃程度、

「コシヒカリ」は1,000℃程度、

高冷地の「まいひめ」、「あきたこまち」では950℃程度です。

刈り遅れないよう準備を進めましょう。

地域	主な品種の出穂期 (太字月日は郡山市での 各品種の本年の出穂盛期)	9月4日までの 積算気温(°C)		各積算気温の到達日		
		本年 実測値	平年値	950°C	1,000°C	1,050°C
				コシヒカリ以外の刈取適期		
平坦地	8月8日	662	646	9月18日	9月21日	9月24日
	8月9日	635	621	9月20日	9月22日	9月25日
	8月10日	606	596	9月21日	9月24日	9月27日
	8月12日	553	547	9月24日	9月27日	9月30日
	8月14日	497	498	9月27日	9月30日	10月3日
	8月16日	444	449	9月30日	10月3日	10月6日
	8月20日	346	376	10月6日	10月9日	10月14日
湖南	8月1日	791	756	9月13日	9月15日	9月18日
	8月2日	770	733	9月14日	9月16日	9月19日
	8月4日	723	687	9月16日	9月19日	9月22日
	8月6日	674	641	9月18日	9月22日	9月25日
	8月8日	625	595	9月21日	9月25日	9月28日
	8月10日	574	549	9月24日	9月28日	10月2日
	8月12日	525	503	9月28日	10月2日	10月5日
	8月14日	475	458	10月2日	10月5日	10月9日
8月16日	424	413	10月5日	10月9日	10月13日	

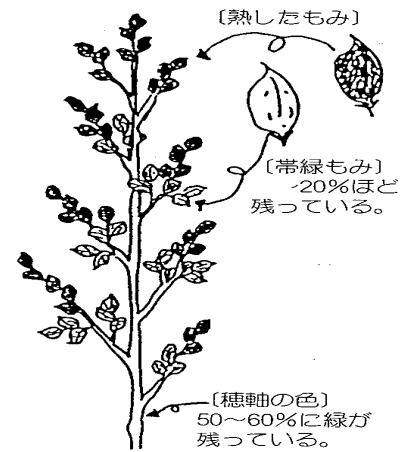
※「各積算気温の到達日」は、9月4日まで実測値、それ以降は平年値を用いて算出。

なお、平坦地はアメダス郡山(安積町成田)、湖南はアメダス猪苗代のデータを用いています

*刈り取り適期は気象条件の良い年は日数が短縮され、低温や曇天などの年は日数が延びる。

(2) 穂の形態から

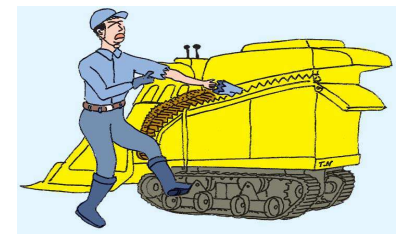
ほ場全体を見渡し、平均的な株の穂の黄化程度を良く観察します。もみの80~90%が黄化した時期を刈り取り適期と判断します。ほ場によって黄化にムラがあります。慎重に判断してください。



5. 適正な乾燥調製

- ① 乾燥機等はよく掃除し、異物や別の品種が混ざって問題とならないよう気をつけましょう。
- ② 倒伏したり、登熟の遅い部分は刈り分けましょう。
- ③ クサネムは種子が混入しないよう、刈り取り前に抜き取りましょう。
- ④ 収穫後、直ちに乾燥機に搬入し、通風乾燥を行いましょう。
- ⑤ 高水分の生粃は乾燥機をいったん止め、乾燥ムラを防ぎましょう。
- ⑥ **仕上げ目標水分15.0%**を守りましょう。
- ⑦ 高温での粃摺りは肌ズレを招くので注意しましょう。
- ⑧ 選別は、選粒機の網目1.85mm以上を用い、能力に合った流量を守りましょう。
- ⑨ 計量器はあらかじめ点検し、決められた量目で袋詰め、出荷して下さい。
- ⑩ カントリーエレベータやライスセンターを利用し、**機械コスト削減**に努めましょう。

巻き込まれ事故が多発!



6. 農作業事故の防止 農作業はあせらず、無理せず、安全に!

コンバインの整備、運行、補助作業は細心の注意で行いましょう。
台風時や、増水時の用排水路巡回も十分に注意してください

7. 23年産の稲わら（粃殻を含む）等の取扱い

- (1) 当該ほ場で生産された稲わらを、そのほ場にすき込むことは、放射性セシウムの濃度に関係なく可能です。
- (2) 福島県産の稲わらを飼料として利用する場合は、福島県が行うモニタリング調査により福島県が利用の可否を判断します。
- (3) 肥料、土壌改良資材の原料として利用する場合は、利用者が自ら確認した上で製造、販売してください。肥料には堆肥が含まれます。土壌改良資材は稲わら、粃殻をそのまま施用する場合も含まれます。なお、飼料の暫定許容値は300ベクレル/kg、肥料、土壌改良資材の暫定許容値は400ベクレル/kgです。
- (4) 米ぬかを「飼料」として使う場合は、飼料の基準が適用されます。飼料の暫定許容値は300ベクレル/kgです。

堆肥等の放射線分析機関

会社名	所在地	電話 FAX
(株)環境分析研究所	960-8132 福島市東浜町 22-2	024-535-0183 024-536-5123
山北調査設計株式会社	963-0204 郡山市土瓜 1 丁目 209	024-951-7293 024-951-7273
(株)加速器分析研究所 (白河分析センター)	961-0835 白河市白坂字一里段 6-270	0248-21-1055 0248-21-1057

分析を依頼する場合は、必ず電話で確認してください。

*** 早期出荷米において調査を行った結果、コンバイン収穫や乾燥機、粃すり機から排出される粉塵等による放射線量に大きな変化はなくこれらの作業では周辺環境におよぼす影響は見られませんでした（福島県農業総合センター）。**